

# 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果をふまえた指導改善策

## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査の対象

中学校第3学年・義務教育学校第9学年の生徒

### 3. 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - ・生徒に対する調査
  - ・学校に対する調査

### 4. 調査日時

平成31年4月18日（木）

## II 学力調査の結果【中学校・義務教育学校後期課程】

### 1. 教科に関する調査結果(平均正答率※)

1.	国語	数学	英語
全 国	72.8	59.8	56.0
広島県	74	60	56
府中市	72	58	54
第一中学校	71	58	54

※平均正答率とは、「生徒の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。

## 2. 調査結果にみられる特徴と課題及び今後の改善策

【国語】特徴と課題
<b>話すこと・聞くこと</b> ◆ 話合いの話題や方向を捉えることに課題がある。〔2〕一〕 (73.0%)
<b>書くこと</b> ◆ 自分が伝えたいことについて資料の中から根拠となる情報を取り出して正確に書くことや、自分が伝えたいことの根拠として読み手に分かりやすいように書くことに課題がある。〔3〕二〕 (73.7%)
<b>読むこと</b> ◇ 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことはできている。〔1〕三〕 (94.2%) ◆ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことや、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。〔1〕一、二〕 (58.4%, 59.1%)
<b>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</b> ◇ 語の一部を省いた表現について、話や文章の中で適切な活用の仕方を理解をすることはできている。〔4〕 (77.4%) ◆ 封筒の書き方を理解し、文字の大きさや配列などに注意して書くことに課題がある。〔1〕四〕 (56.9%)

◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点

【国語】改善策
<b>○ 目的や場面に応じて話し合い、自分の考えをまとめる指導の工夫</b> ・目的や場面に応じて話し合い、自分の考えをまとめる場を計画的に仕組んでいく。聞き取りのポイントをつかませることを反復練習し、さらに対話や討論などの言語活動の場を国語科のみならず総合的な学習の時間やあらゆる場面で活用させるようにする。
<b>○ 目的や意図に応じて相手に分かりやすく書く活動の充実</b> ・書き方の基本型を示しながら、文章を比較させることで分かりやすさをより具体的に理解させる。また、あえて分かりにくい文章を示し、推敲する活動を通して、事実や事柄、意見や心情を相手に分かりやすく効果的に伝えるための書き方の基本を理解させ、さまざまな状況に応じた文章を書かせる。
<b>○ 学習したことを生かして表現する場の設定</b> ・総合的な学習の時間などで、学習したことを活用して表現する場を設定する。

## 【数学】特徴と課題

### 数と式

- ◆ 与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることに課題がある。〔9 (1)〕 (50.4%)
- ◆ 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに引き続き課題がある。〔9 (2)〕 (51.1%)

### 図形

- ◇ 平行移動の意味について理解している。〔3〕 (84.7%)
- ◆ 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することに課題がある。〔7 (3)〕 (52.6%)

### 関数

- ◆ グラフ上の2点の  $y$  座標の差について、事象に即して解釈することに課題がある。〔6 (1)〕 (38.0%)
- ◆ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。〔6 (2)〕 (40.1%)

### 資料の活用

- ◇ 簡単な場合について、確率を求めることはできている。〔5〕 (78.8%)
- ◆ 資料を整理した表から最頻値を読み取ることに課題がある。〔8 (1)〕 (53.3%)
- ◆ 問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することに課題がある。〔8 (3)〕 (49.6%)
- ◆ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。〔8 (2)〕 (43.8%)

## 【数学】改善策

### 数と式

- **目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する活動の充実**
  - ・ 事柄が一般的に成り立つ理由を、筋道を立てて説明できるようにするために、成り立つと予想した事柄について、文字式や言葉を用いて解決するための見通しをもち、その見通しを基に根拠を明らかにして説明する活動を充実する。

### 図形

- **結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明する活動の充実**
  - ・ ある結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、それを数学的に表現する活動を充実させる。その際、成り立つ事柄について、その前提を変えたとき、同じ結論が成り立つかどうかを検討するなどして、同じ結論が成り立つための前提を考えるといった、統合的・発展的に考える場面を設定する。

### 関数

- **事象の数学的な解釈に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実**
  - ・ 様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「用い方」を明確にして問題解決の方法を説明する活動を充実する。その際に、問題解決のために表した表、式、グラフをどのように用いればよいか説明し合う場面

を設定し、検討する活動を充実させる。

#### 資料の活用

- **代表値の必要性や意味を理解するために、データを整理した表などから代表値を求める活動の重視**
  - ・データの傾向を捉えるための根拠を明らかにするために、目的に応じて収集したデータやそれを整理した表から、代表値を的確に求める活動を重視する。
- **データの分布の傾向を読み取り、判断することを通して、統計的に問題解決する活動の充実**
  - ・日常生活や社会の事象における問題に対して、目的に応じてデータを収集し、ヒストグラムなどに整理し、そのデータの分布の傾向を読み取り、それに基づいて判断し統計的に問題解決する活動を充実させる。

### 【英語】特徴と課題

#### 聞くこと

- ◇ 教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることはできている。〔1－(2)〕 (92.0%)
- ◇ まとまりのある内容を聞いて、必要な情報を理解することはできている。〔3〕 (86.1%)
- ◆ まとまりのある内容を聞き、適切に応じることができるよう、話し手の意図をとらえることに課題がある。〔4〕 (5.1%)

#### 読むこと

- ◇ 日常的话题について、簡単な語や文で書かれた情報を正確に読み取ることはできている。〔5－(1), (2)〕 (80.3%, 75.9%)
- ◆ まとまりのある文章を読んで、書き手が最も伝えたいことなど大切な部分を理解することに課題がある。〔7〕 (27.7%)
- ◆ 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることに課題がある。〔8〕 (11.7%)

#### 書くこと

- ◇ 文の中で適切に接続詞を用いることはできている。〔9-1〕 (82.5%)
- ◆ 語や文法事項等を正しく用いて、文を書くことに課題がある。〔9－(2)②, (3)②③〕 (25.5%, 24.8%, 32.8%)
- ◆ 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことに課題がある。〔10〕 (0.7%)

#### 話すこと

- ◇ 基本的な表現や文法を理解して、応答することはできている。〔1－(1)(2)〕 (54.3%, 54.3%)
- ◆ 適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することに課題がある。〔1－(3)〕 (26.8%)
- ◆ 聞いて把握した内容について、やり取りすることに課題がある。〔2〕 (6.5%)
- ◆ 与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる。〔3〕 (38.4%)

## 【英語】改善策

### 聞くこと

#### ○ 話し手の意図とらえ、書くことにつなげる指導の充実

- ・話し手からの依頼、提案などを聞き、それを基にして書くという力をつけるためには、まず、様々な場面設定で話し手の意図をとらえられるよう繰り返し聞く練習を行う。また、適切な表現で応答できるよう、基本的文法事項や文構造を意識した書く指導も並行して行っていく。

### 読むこと

#### ○ まとまりのある文章を読んで、話の内容や書き手の意図を読み取る指導の充実

- ・まとまりのある文章を読ませ、大意や概要を把握させる。また、挿んだ概要の中から書き手の最も伝えたいことや大切な部分を理解させる指導を行う。

### 書くこと

#### ○ 考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く指導の充実

- ・まとまりのある文章を書くために、英語の基本的な語や文法事項等を理解して、正しく英文を書けるよう指導をしていく。また、代名詞や接続詞の活用や文全体の構成等にも留意させる。

### 話すこと

#### ○ 情報や考えなどを即興で伝え合う指導の充実

- ・生徒が興味・関心のあるトピックを用い、即興で気持ちや考えを伝え合う活動（スモールトーク）を継続して授業の帯活動に位置付ける。またその際、日常的な話題や身近な場面に関わる表現を教師自らが積極的に用いることで、まとまった意味を表す結びつきとして意識させ、習熟させていく。

## Ⅲ 学習状況調査の結果

### 1. 学習状況調査（生徒質問紙）の結果にみられる傾向

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目

- ・(23)今住んでいる地域の行事に参加していますか。（全国：50.8% 本校：75.9%）
- ・(24)地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。  
（全国：39.4% 本校：62%）

肯定的な回答の割合が全国平均値よりも低かった項目

- ・(30) 1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか。（「ほぼ毎日」、「週1回以上」全国：31.3% 本校：7.3%）

本校のICT活用率は極めて低い傾向がうかがえる。その背景として、ICTが活用できる環境設備が不十分なことや、教員がICTに不慣れであることがあげられる。報告書の分析によると、授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思うと回答している児童生徒のほうが、教科の平均正答率が高い傾向があると記載されている。このことを受け、本校においてもICTのより一層の活用により、生徒の興味関心、理解度を高める授業づくりをしていく必要がある。

## 2. 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

- 現在の総合的な学習で行っている地域に関する学習を更に深化させ、自分たちの住んでいる地域の現状にとどまらず、未来を考えさせる取り組みを行う。
- 生徒会執行部の活動を通して、全校生徒に積極的に地域の行事に参加するよう呼びかけ、地域との繋がりを更に深める。
- 全教育活動を通して、地域や社会への関心を引き出し、自分の意見が持てるように、問いかけの工夫や指導を行う。
- 学校の教育活動の情報について、ホームページの更新・学校だより・学年通信等で、保護者・地域に情報提供を行う。